



平成28年11月
第32号

伊佐市 議会だより



実りの秋

目次

- 補正予算 2
- 委員会報告 4
- 決算委員会 6
- 議決結果・表決結果 8
- 一般質問 10
- 勇退議員紹介 17
- 閉会中の議会活動 18
- 議会映像マルチ配信サービス 19
- いさの夜空・編集後記 20

541万円追加(総額179億9,800万円)

※主な補正内容・概算額で表示

災害復旧

6.21梅雨前線豪雨による災害復旧(市内一円)

1,300万円

財政基盤の強化

過疎対策事業債(ハード分)の減額調整

▲2億7千万円

※大口中央中プール・小学校校舎屋根防水工事を一般財源で借置

普通交付税(決定)

51億2,800万円

(昨年度より▲3億円)

7,800万円

臨時財政対策債(決定)

4億1,500万円

▲3,500万円

財政調整基金(追加取崩)

1億7,500万円

取崩総額7億7,600万円
残高見込58億1,900万円

社会資本整備

市道等の路線整備(土木工事)

2,600万円

花北下手線舗装整備、高柳木崎線側溝整備

河川整備(土木工事)

▲9,200万円

社会資本整備総合交付金事業の事業割当額が減額されたことに伴う工事費の減。

※1億7千万円→7,800万円

教育環境整備

小学校の改修

4,000万円

校舎屋根防水工事

(牛尾小・羽月小・本城小)

※当初予定していた以下の事業が国の事業割当を得られなかったため、工事内容を変更した。 ▲1億円

・小学校外壁改修工事

(牛尾小・羽月小・本城小)



第3回 定例会

一般会計補正予算2億1,

9月定例会は、9月1日から10月17日まで47日間の日程で開かれました。審議の結果、補正予算2億1,541万円は原案のとおり可決しました。補正予算の使い道を一部ご紹介します。

スポーツの振興



カヌー競技力向上を支援

155万円

2019年南九州4県主催全国高校総体に向け、地元カヌー選手の育成・強化を図るため、カナディアンフォア艇を購入する伊佐農林高校カヌー部を支援する。



カナディアンフォア艇（イメージ）

農業振興



6次産業化支援事業
(H26～H28)

100万円

国の6次産業化事業の補助を受けない農林漁業者等の新商品の開発や販路開拓・拡大を支援する。1団体追加支援を予定。
※今年度既実績：2団体

地域振興



特産品をお礼としてお届け
(追加分)

1,100万円

ふるさと応援寄附金を6,300万円増の1億円と見込み、お礼の特産品を購入してお届けする。
※8月10日現在の寄附額
1,250件2,783万8千円（昨年同時期の4倍）

畜産振興



畜産業の有益性向上を支援（畜産クラスター事業）

850万円

畜産クラスター事業に対する県補助金が増額決定（県10/10）

降灰地域飼料作物確保対策事業により飼料作物を確保

1,000万円

飼料作物確保対策事業（飼料用稲収穫機導入）に対する県補助金が増額決定（県10/10）

各委員会報告

主な質疑と内容

総務産業委員会

建設課

公有財産購入費

290万円

Q 市道十曾線に係る補正だということだが、具体的な内容は。

A 市道部分2.121㎡の未登録が判明した。市有財産として登記するための予算要求である。



農政課

牛舎施設整備事業

350万円

Q 当初予算で8棟分の予算上だったが、増額理由は。

A 7月現在で、13件の要望がある。5棟分が不足していることと、今後予想される2棟分を合わせた、7棟分の増額である。

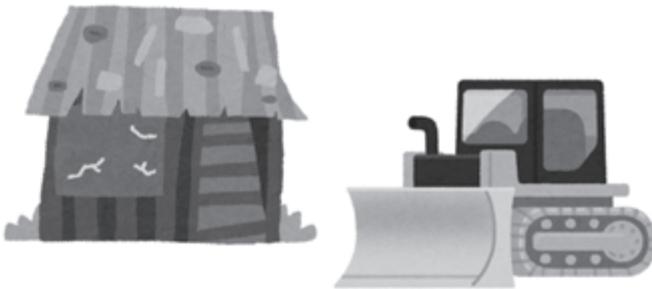
伊佐PR課

アイスワールド

補助金150万円

Q この補助金、どのような用途になるのか。

A 実行委員会の新たな取り組みとして、氷のステージを使ったフリースタイルスキーや氷の滑り台に用いる設備等のリニューアルの要望があった。



総務課

危険家屋解体

300万円

Q これまでの執行状況と300万円増額補正の内容は。

A 今年度は、すでに11件執行している。このほかに13件の危険家屋解体の申請があり、これに対応する補正である。

税務課

賦課徴収費

8万1千円増額

Q 滞納整理指導員の旅費増額の理由は。

A 前任者は鹿児島市在任で、新任の嘱託員は熊本県上益城郡の方である。通勤旅費が増えたためである。

財政課

財政調整基金

2億1千万円

Q この積立で、年度末残高が58億1900万円の見込みになる。財政調整基金に対する、基本的な考えは。

A 平成27年度の繰越金が、4億1千万円。地方財政法に基づき、余剰金の2分の1を下回らない額を積み立てる。これま

で、このように積み立てられてきた結果が、年度末残高になる。今後、大規模な普通建設事業などが予定され、順次取り崩していかなければならない見込みである。

議案第76号 平成28年度伊佐市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

Q 施設管理費・委託料47万円の用途は。

A 菱刈中央地区の処理場から、水路に沿って東側に走る管路がたびたび詰まる。カメラを入れて、配管の中を調査する。

文教厚生委員会

教育委員会総務課

工事請負費
5500万円減額

Q 減額の内容は。

A 小学校の外壁補修工事が国の事業割り当てを得られなかったため減額する。ただし、校舎の屋根防水工事は実施する。



羽月小学校 屋根防水工事

修繕料

5000万円増額

Q 事業内容は。

A 全体的に小学校の施設が老朽化してきており、修理費が高んできているため追加する。

学校教育課

賃金247万9千円増額

Q 事業内容は。

A 菱刈中学校に、学習支援員を3人増員して生徒の学習の充実を図るためのものである。



文化スポーツ課

補助金155万円増額

Q 増額理由は。

A 平成31年に開催される全国高校総体の競技力向上のため、伊佐農林高校が購入するカナディアン種目の4人艇の購入補助金である。



健康長寿課

老人福祉総務費報酬等の増額

Q 事業内容は。

A 65歳以上の高齢者を含む任意の団体が行う互助活動に対し、商品券に交換できるポイントを付与し、高齢者を地域全体で支える地域包括ケア推進を図る事業である。



商品券

備品購入費

322万7千円増額

Q 事業内容は。

A まごし温泉の深井戸ポンプのスペアを購入する。



まごし館

福祉課

旅費の増額

Q 事業内容は。

A 生活保護ケースワーカーの研修旅費である。



平成27年度決算 一般会計など8会計を認定

審査内容

決算審査に当たっては、平成27年度一般会計、特別会計ともに歳入歳出決算書、主要な施策の成果説明書に基づき、6日間にわたり各課ごとに説明を求め審査を行いました。決算の審査結果は第3回定例会で報告され全ての決算案が認定されました。

現地調査対象箇所

- 建設課
 - ・十曾線道路改良工事
- 林務課
 - ・森林管理道路開設事業
- 環境政策課
 - ・汚泥再生処理センター施設整備工事
 - ・大口リサイクルプラザ設備補修
- 伊佐PR課
 - ・鶴田ダム水質浄化施設(ピオトップ)
- 農政課
 - ・6次産業化支援事業(沖田黒豚牧場)
 - ・水田高度利用化対策事業(下手)
- 企画政策課
 - ・子育て交流拠点施設整備
- 教育委員会総務課
 - ・菱刈中学校特別教室棟大規模改修
 - ・菱刈小学校校舎改築

○平成27年度一般会計・特別会計決算状況

(単位:千円)

会 計	区 分	歳入額 (A)	歳出額 (B)	差引額 (C)	翌年度へ繰越 すべき財源(D)	実質収支 (C) - (D) = (E)
一 般 会 計		18,209,099	17,680,335	528,764	116,291	412,473
特 別 会 計	国民健康保険事業	5,092,725	5,091,380	1,345	0	1,345
	介護保険事業	3,158,754	3,077,675	81,079	0	81,079
	介護サービス事業	30,746	19,381	11,365	0	11,365
	後期高齢者医療	422,729	422,120	609	0	609
	簡易水道事業	7,019	6,998	21	0	21
	農業集落排水事業	173,458	173,127	331	0	331
	小 計	8,885,431	8,790,681	94,750	0	94,750
合 計		27,094,530	26,471,016	623,514	116,291	507,223



環境政策課：汚泥再生処理センター施設造成

○水道事業会計決算状況

(単位:円)

区 分	収 入	支 出
収 益 的	416,475,361	339,050,510
資 本 的	182,908,000	353,951,993

資本的収入額が資本的支出額に不足する額171,043,993円は、減債積立金50,000,000円、過年度分損益勘定留保資金104,050,444円及び当年度消費税資本的収支調整額16,993,549円で補てんされている。

審査を通じての 指摘事項 (主な事項抜粋)

総務課

○消防団員が定員割れしているため、団員確保のため、地域や職場の理解と協力が得られるよう努力をされたい。

○防火水槽については消防水利の不十分な地区を優先して建設を推進されたい。

○災害避難所については、建物及び非構造部材の耐震性向上や洋式トイレの普及、畳・マット等の備品を充実されたい。PCなどちゅうの活用も検討されたい。

企画政策課

○次世代を担うリーダー養成事業については、後々まで事業の成果が生かされるようフォローを行なっていただきたい。

○重留地区の多目的公園については、特別支援学校等の用地として目的を早期に決定するとともに、道路排水路、調整池等のインフラ整備の促進を図られたい。

財政課

○土地等の公有財産売却に当たっては、近傍の民有地売買価格への影響も考えられるが、応募者が入札に参

○主要な財政指標

(単位：千円 %)

区 分	平成27年度	平成26年度	類似団体
財政力指数(3ヶ年平均)※1	0.36	0.36	0.41
標準財政規模	9,696,521	9,625,868	10,536,749
基準財政収入額	2,950,793	2,864,228	3,326,494
基準財政需要額	7,927,107	7,659,427	8,181,796
経常一般財源収入額	9,533,363	9,057,026	10,010,320
実質収支比率 ※2	4.3	3.3	5.9
経常収支比率 ※3	85.1	88.5	90.1
実質公債費比率 ※4	9.7	10.9	11.1
地方税 徴収率	現年課税分	98.6	98.3
	滞納繰越分	12.3	12.9
	合計	91.9	91.3
地方債残高(特定資金を除く)	14,785,589	13,762,873	16,391,913
債務負担行為額	1,100,988	1,278,897	2,710,430

※1【財政力指数】

基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た値の3年間の平均値。高いほど財源に余裕があるとされる。(1以上であれば財政力が極めて強い)

※2【実質収支比率】

標準財政規模に対する実質収支額の割合。3%~5%が望ましいと考えられる。

※3【経常収支比率】

経常的な経費に経常的な一般財源をどれだけ充当したかを示す。70%~80%が標準とされる。

※4【実質公債費比率】

市税・普通交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される財源のうち、公債費や公営企業債に対する繰出金など公債費に準ずるものを含めた公債費相当額に充てられた額の占める割合の3ヶ年平均値。18%未満が望ましい。

伊佐PR課
○ピオトップの宣伝と維持管理を強化して観光と併

加しやすい価格設定など努力し、実績を上げられた。
○乳がん検診の伸びにみられるように各種検診受診率の向上に努力されているが、伊佐地区は、従来から脳卒中死亡率の高さも指摘されている。市民の健康増進のため、各種検診や健康教育事業により多くの市民に参加してもらうには、地域ぐるみの協力体制が欠かせないと考える。どういった方法があるか大いに研究されたい。

農業委員会
○耕作放棄地については、農政、林務課等と連携を密にし発生抑制に努めるとともに、土地の生産性が上がるような土地利用の転換を含め検討されたい。

農政課
○新規需要米等作付け拡大で農家の経営所得安定対策を強化されたい。

建設課
○住宅新築資金等貸付金の回収は著しく低いので、先進事例等の研究も行い実効性の高い事務の執行に努力されたい。

教育委員会総務課
○各学校施設の老朽化が進んでいる。羽月小学校の旧幼児学級校舎、菱刈中体育館床等安全面からの検討をされたい。

社会教育課
○祁答院住宅については、国民共有の財産である国指定重要文化財であることから、可能な限りの一般公開ができるよう努力されたい。

健康長寿課
○学力向上や基本的生活習慣など、最も重要な基礎となる家庭の教育力向上のため、家庭教育学級の充実に努力されたい。

環境教育の一環として
せ、環境教育の一環として生かしてもらいたい。

定住体験住宅が確実に移住・定住につながるよう運用強化を図られたい。

住宅新築資金等貸付金の回収は著しく低いので、先進事例等の研究も行い実効性の高い事務の執行に努力されたい。

各学校施設の老朽化が進んでいる。羽月小学校の旧幼児学級校舎、菱刈中体育館床等安全面からの検討をされたい。

○健全化判断比率

(単位：%)

実質赤字率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
- (13.39)	- (18.39)	9.7 (25.0)	- (350.0)

※実質赤字額又は連結実質赤字額がない場合及び実質公債比率又は将来負担比率が算定されない場合は、「-」と記載。

※カッコ内は、本市の早期健全化基準値である。

一般会計決算審査特別委員会委員

委 員 長	副 委 員 長	委 員
岩元 克頼	今村 謙作	福本 千枝子
		森田 幸一
		森山 良和
		畑中 香子
		柿原 榮一
		左近 充論



林務課：山ノ神線

たい。住宅としての不備があれば改善されたい。

○祁答院住宅については、国民共有の財産である国指定重要文化財であることから、可能な限りの一般公開ができるよう努力されたい。

○学力向上や基本的生活習慣など、最も重要な基礎となる家庭の教育力向上のため、家庭教育学級の充実に努力されたい。

○住宅新築資金等貸付金の回収は著しく低いので、先進事例等の研究も行い実効性の高い事務の執行に努力されたい。

○各学校施設の老朽化が進んでいる。羽月小学校の旧幼児学級校舎、菱刈中体育館床等安全面からの検討をされたい。

議決結果一覧表

議案番号	件名	議決結果
議案71号	平成28年度伊佐市一般会計補正予算（第4号）	原案可決
議案72号	平成28年度伊佐市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案73号	平成28年度伊佐市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案74号	平成28年度伊佐市介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案75号	平成28年度伊佐市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案76号	平成28年度伊佐市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案77号	平成28年度伊佐市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案78号	伊佐市税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案79号	伊佐市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案80号	伊佐市十曾青少年旅行村の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案81号	伊佐市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案82号	伊佐市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案83号	伊佐市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案84号	平成27年度伊佐市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	原案可決
議案85号	平成28年度伊佐市一般会計補正予算（第5号）	原案可決
議案86号	平成28年度伊佐市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案87号	伊佐市ひとり親家庭等医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案88号	平成27年度伊佐市一般会計歳入歳出決算認定について	認定
議案89号	平成27年度伊佐市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案90号	平成27年度伊佐市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案91号	平成27年度伊佐市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案92号	平成27年度伊佐市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案93号	平成27年度伊佐市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案94号	平成27年度伊佐市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
議案95号	平成27年度伊佐市水道事業会計決算認定について	認定
議案96号	平成28年度伊佐市一般会計補正予算（第6号）	原案可決
諮問2号	人権擁護委員候補者の推薦について	適任
諮問3号	人権擁護委員候補者の推薦について	適任

第3回定例会（9月）の表決結果

議案番号	議案	議員氏名																		
		森山良和	今村謙作	山下和義	森田幸一	緒方重則	久保教仁	前田和文	諏訪信一	畑中香子	沖田義一	鶴田公紀	左近充論	柿木原榮一	福本千枝子	市来弘行	中村周二	岩元克頼	丸田和時	
88	平成27年度伊佐市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長職のため表決には参加しない。

賛否が分かれた議案のみ（○は賛成、●は反対、欠は欠席）

請願と陳情の結果



件名	提出者	紹介議員	付託先	結果
平成28年度市道（日東）路面補修に関する請願書	築瀬 正秋	森山 良和	総務産業委員会	採択

平成28年度市道（日東）路面補修に関する請願書

鹿児島県伊佐市議会議長

丸田 和時 様

紹介議員 森山 良和

請願者 日東自治会長

築瀬 正秋

請願の趣旨

市道日東線築瀬宅から吉満宅間についての路面補修を一層促進して頂けるよう請願する。

理由又は説明

市道日東線が開発されてから、40年程経過しており、路面の劣化が著しい。また、当地区は畜産主体であり、コンテナ車やバルク車、牛積載車等の大型車が頻繁に利用しているため、大変危険な状況である。早急な補修が必要だと思われる。

市民生活の 向上をめざし 一般質問 12人



大丈夫か農業政策

市長／JA・農業公社と

連携して進める

久保 教 仁 議員

問

地方創生。人口減少に歯止めをかけ、伊佐市を活性化させる。これを農業の観点から考えると、基幹産業である農業を活かした活性化を目指すべきだ。農業生産の増加、農業所得の向上を図り、農業の魅力が高める好循環を実現すべきではないか。

答

農業をより進めていくための施策は、数年間にわたって実施している。水田の乾田化、かぼちゃ・ネギ等の補助。これを農家の方々に、自分のものとして取り組んでいただく、活用していただくことが肝要だ。作付面積が拡大している大豆にみられるように、収穫時期が重なる。汎用コンバイン等の課題や農業施策については、JA・農業公社と連携を取りなが

らやっていく。

問

県下一の水田面積・生産収量を抱えながら、WCSでは薩摩川内・鹿屋・肝属に比べて面積は半分以下である。2年後は、生産数量目標の配分が廃止され、交付金も見直される。農家所得向上のためにWCS・飼料米の作付面積拡大を仕向けていく努力が必要ではないか。

答

2年後、新しい制度が打ち出されたとき、新規需要米に取り組ま



なければ厳しいことになると思う。努力していない訳ではないが、理解が得られていない。各地域でh a単位で増やしていくことを狙いとして、粘り強く農家の方々に伝えていく。

生活道路の整備進捗は

市長／県と交渉し完成を早めたい 前田 和文 議員



問

篠原下目丸線（舟ノ川集落内市道）の27年度工事と、今年度工事予定は。

答

27年度工事として延長140m、道路幅員5mが、事業費5300万円で完成してい

る。今年度、残りの220mを、2050万円の事業費で完了予定である。

問

大田木ノ氏線歩道設置工事の状況はどうか。

答

全体計画が470m、車道が6mに、1.5m歩道を設け、道路全体幅員を7.8m位になる予定とし、総事業費が6000万円ほどになる。測量設計の業務が完了し、28年度は用地と補償の予算として250万円確保している。29年度以降の工事予定である。



大口東小学校の補修工事予定は

問

体育館床補修工事は来年夏休みにできるのか。

答

床板のみの修繕ではなく土台まで交換する必要がある。学校側と調整する中、今年度の事業執行は行わず、来年度の夏休みに実施する予定である。

問

来年度、校舎の外壁、床張り工事は予定しているのか。

答

各小学校の校舎の外壁工事は、国の防災機能強化事業の交付金を利用し進めている。6月に県へ実施に係る計画書を提出し国、県から内示を受け、大口東小学校は、来年度実施予定としている。また、外壁補修工事と同時に教室床改修工事も実施する計画である。



汚泥再生処理センターの完成年度は

市長／平成30年3月予定

鶴田 公紀 議員

問

汚泥再生処理センターの完成年度、放流先と曾木の滝公園整備の景観との関連、合併浄化槽の整備状況、現処理施設の跡地活用は。

答

現施設は地元協力で延長して使用している。新衛生センターは曾木深川地区に生活環境調査を行い、今年4月15日起工式を行い、平成30年3月20日前後が完成予定。放流先は広域農道沿いに放流管を布設、曾木の滝分水路の最下流部で川内川に放流するので公園整備や景観に影響はないと考える。合併浄化槽、水洗トイレ使用人口64.3%である。跡地の問題は大型タンク、機械、器具の施設建物で再利用は難しい。施設は解体を優先に検討するが跡地利用は白紙

の状態で今後検討する。

農業問題について

問

農業は職の原点である。農業問題は国県市JA等関係機関が各種補助制度等で対応している現状であるが、就農者は高齢者が多く、後継者不足の問題は歴然である。また、耕作放棄地増も山間部より増加傾向は現実の問題である。自助努力は無理、行政の公助対策は。

答

公助は、国も農業後継者を含めた新規の研修を受ける期間を設け、その間収入がないので青年就農給付金事業を用意して後継者や新規就農者を育てようとしている。耕作放棄地発生防止策は、傾斜のある農業生産条件の不利

な中山間地域に増加傾向があるが生産活動を維持支援する中山間地域等直接支払、あるいは多面的機能支払制度を活用して何とか放棄地増加防止に努力している現状である。

企業との連携強化を図れ

市長／今後に期待する
緒方重則 議員



答

かつて地方に誘致されていた分野はほとんど海外に進出の形をとる、国内においても港ないし空港に近いところを優先的に考える現状にあり難しい。今は、住友あるいは三菱などの系列等に頼りながら企業訪問を重ねている。現在、カミチクが伊佐牧場夢さくら館店を運営しており、最も地元密着で大切なことであると思う。初年度として加工品の売上げも順調な伸びで、チーズ等新しいものにも取組み、今後さらに期待できるのではないかとと思う。

問

カミチクグループとの連携強化を図ることが非常に大切と考える。また、ピースマイルプロジェクトにおいて飼料用米を活かした飼料製造事業を誘致できないか。

答

現在、さつま町と一緒に、体験型観光を進める※DMO設置について協議を行っている。その中に、カミチクも入り議論をしており、今後も観光

DMO：地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として多様な関係者と協議しながら、戦略を策定。この戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人。

問

自然型体験DMOへの参加応募はな

問

6月議会以降、伊佐市、さつま町で約5200万円をかけ、まちひと・しごと創生総合戦略の一環として自然型体験DMO協議会が立ち上げられた。動き並びに協議会の設立メンバーは。



自然型体験DMOへの応募は

市長／セルビス(本社堺市)が関心を示している

柿木原 榮一 議員

答

曾木の滝観光協会に属しているセルビスが関心を示され、事業計画を立てて、協議会で認める。うまく観光庁の申請に間に合う形で参加して頂く。行政は、許認可の手伝い、地域住民との良いコミュニケーションをとる一助を果たす。

問

大口都市計画の種別の区割りがあったが、審議会等で見直す可能性は。

答

審議会は、今後、見直す課題がないので、現在はない。

問

答

人口減少で地域の再編は必要だと思うが、国土交通省は連携中核都市圏構想、経済産業省は都市雇用圏を出したがどのように思うか。

答

中核都市圏構想等は国が打ち出し、



▲ 新曾木大橋から見た大鶴湖

新規需要米で農業所得向上を

市長／政策の中で進めていきたい
左近充 議員



問

WCS用稲を栽培すると、反当り8万円の助成金と裏作で1万5千円、計9万5千円になる。飼料用米の栽培をすると13万8千円を、売り上げている人がいる。両方も元肥に堆肥、追肥を少しで経費も少なくなる。ま



た、専用品種を作付すると、虫も付きにくく、農業所得の向上になり、食用米も値上がりする。伊佐市としても、推進すべきではないか。

答

うまく制度を利用すると、非常に良い販売額になると思う。国も需要と供給というところで、一番考えている。食用の供給量が増えると、値下がりするので、下がらない供給量を維持しながらWCS、あるいは飼料用米というところで、ほ地の利用を今後政策の中で進めていく。

飼料用米の機械補助は

問

飼料用米と主食用米が、混入しないで面積を増やすには、コンバインや乾燥機等を、完全に別にして、共同刈取・乾燥をしていくのが、一番大事だと思う。機械等の補助はないか。

答

県単事業がある。事業名で、活動火山周辺地域防災営農対策事業・降灰事業になるが、WCSの刈取等、その事業で機械購入等されている。



希望を持てる総合戦略を

市長／現実に即してすすめる

岩元克頼 議員

問

伊佐市創生総合戦略に関する次の点についてお尋ねする。

- (1) 2060年目標人口は1万5千人だ。どのような姿になるか。目標の見直しの余地はないか。
- (2) 明光学園生によるICTとシェアハウス導入の農業後継者育成実現。
- (3) 6次産業化の実情(5年間で目標30者)
- (4) 交流人口の増(5年後の目標70万人)で定住増を図るが、増加の見込みと効果。
- (5) 農地取得の下限面積を移住定住に限り10アールにできないか。

答

(1) 人口減少に伴い、病院・施設・学校・商店等のインフラが縮小する。小さなまちでも活性化しているところはあ

るので参考にしつつゆくりとダウンサイズ化する。集落とインフラを繋ぐネットワークを形成しないと不便なものになる。目標は経過的な状況を見ながら配慮したい。

に変わった。下限の実情は鹿兒島市と霧島市が20アール、他市は30アール。県農連絡協の協議では10アールは難しいとのこと。今後そのような特例がないか県を通じて調査してみたい。

(2) 女子高生のアイデアが評価されたが、現実はそのとおりの実現は難しい。アイデアの主旨は生かしたい。

(3) 高い目標を設定した。27年は2件、28年は3件の見込み。

(4) 交流人口増が、即定住人口増と一概には言えない。交流人口増を通して宿泊やレストランなど経済効果を見込む。

(5) 経営安定や農地集積上の虫食いを防ぐ等の理由で、一定規模以上にならないと許可できない。本市では平成27年度から30アール

市営住宅の廃止・建替について

市長／社会動態等を見ながら慎重に
沖田 義一 議員



問

市営住宅の戸数と入居率、小水流住宅の建替を行っているが、状況等について伺う。

答

市営住宅の管理戸数は588戸、入居可能戸数526戸、入居数459戸、入居率87%で

ある。小水流団地の全体計画は2DK平屋建と3DKの一部二階建の住宅で10棟の20戸である。28年度の建設戸数は5棟10戸と集会所施設である。

問

今後の市営住宅の廃止及び新築、建替について伺う。

答

住宅等長寿命化計画の見直し中であるが、用途廃止予定の団地は、建設年が昭和26年から59年までの耐用年数の過ぎた木造平屋建ての住宅を主とした24ヶ所、107戸を廃止計画としている。建替については、民間住宅の増加や公営住宅長寿命化計画との整合性、社会動態等を慎重に検討している。

児童・生徒の体力、競技等について

問

小中学生の体力測定について伺う。

答

昨年度の小学5年生については、8種目中男子は5種目で、女子は6種目で県平均を上回っている。中学2年生は8種目のうち、男子は1種目で、女子は3種目で県平均を上回っている。

問

大口中央中の競技力について伺う。

答

新しくスタートした2年目になっているが、教科体育や部活において生徒同士が切磋琢磨する姿がみられている。特に部活においては、各種大会で好成績を収めるようになってきている。県大会においても陸上、野球等8種目、部活動以外でも柔道、カヌー等県大会に出場している。



産み育てる環境の充実で人口増を

市長／働く場の確保が最優先
福本 千枝子 議員

問

人口増対策として「子どもを産み育てる環境」の構築が必要である。そこで、①出生率の目標値は2・14人とある。今後上がっていくのか。②不妊治療は国の補助に加えて市単独補助もある。周知しているか。③保育料の第3子からの無料化による市の負担は。④病児病後児保育は他からの要望はないか。⑤小児科医の対応は。⑥子ども医療費の無料化の考えは。

答

①現在の出生率1・90人をさらに上げるためには働く場が必要。②25年度は0件、26年度17件、27年度14件と周知されている。③3千万円で県内は伊佐市のみ。④27年度利用は延べ85人、他保育園、保護者からの要望はない。⑤県立北薩病院に3人、民間病院もあり支障はない。⑥中学生まで無料化した場合6千万円の負担となる。⑦夢あるアイデアであるが、米の場合JA、民間業者、ネット販売等もあり難しい。

問

プルタブで車椅子、エコキャップで世界の子どもにワクチンという運動が全国展開され本市でも小学校等で収集している。環境・資源・福祉をテーマに伊佐市全体で取り組めないか。

答

働く場の確保である。

答

コミュニティでつないで行く。環境教育は教育活動の中で非常に重要であり、さらに福祉に生かされることで教育効果が上がる。



貯め込みやめて 市民のために

市長／今後の財政運営厳しくなる

畑 中 香 子 議員



問 財政調整基金の額が市民一人あたりに換算すると県下で突出しているが、3月議会で市長は「地方債が多額であるため170億円まで貯める」と答弁した。地方債137億円（26年度決算）には臨時財政対策債も含まれており、

これは交付税に算入される。返済するものとして扱うのは間違いだ。

答 国の方針で交付税の総額抑制が行われており、今後の財政運営は厳しくなる。臨財債は財政健全化法の健全化判断比率のほうではその額を差し引いた形で計算がなされている。

問 貯め込みはやめて、生活道路の改善や市民要求に基づく市民サービスを適正に行うよう求める。

答 生活道路については財政とは直接関係はない。村づくり方策を企画政策課に出していただき、優先順位が出てくる中で仕分けしながら整備していく。

ゴミ袋を値下げせよ

問 ゴミ袋の価格が県下で高いほうから2番目の額であり住民の中からも高くて大変だとの声があがっている。廃棄物の処理及び清掃に関する法律によれば自治体内のゴミ処理は市町村が責任を持つ。住民が費用を負担するのは法律に照らしてどうなのか。

答 全国のケースの見解から地方自治法には抵触しないと理解している。

問 多くの住民が困っている状況があれば値下げを検討すべきではないのか。

答 全国的には（1枚）30円は普通の価格である。ゴミの減量の意識を持つてもらって、1人当たり2万5千円の処理費用をかけているということを理解して欲しい。

総括質疑

発言者	質疑事項
福本千枝子	1 議案第79号 伊佐市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について
山下和義	1 議案第96号 平成28年度伊佐市一般会計補正予算（第6号）

ありがとうございました



諏訪 信一 議員

H19. 4. 22
旧大口市議会議員 当 選
H28. 11. 29
伊佐市議会議員 任期満了



市来 弘行 議員

H11. 4. 25
旧菱刈町議会議員 当 選
H28. 11. 29
伊佐市議会議員 任期満了



中村 周二 議員

H 7. 4. 23 当 選
H17. 5. 2
旧菱刈町議会
第30代副議長 就 任
H26. 12. 2
伊佐市議会
第3代副議長 就 任
H28. 11. 29
伊佐市議会議員 任期満了



岩元 克頼 議員

S62. 4. 26
旧大口市議会議員 当 選
H11. 5. 6
旧大口市議会
第25代議長 就 任
H28. 11. 29
伊佐市議会議員 任期満了



丸田 和時 議員

H11. 4. 25
旧大口市議会議員 当 選
H17. 5. 6
旧大口市議会
第28代副議長 就 任
H20. 12. 10
伊佐市議会
初代議長 就 任
H24. 12. 3
伊佐市議会
第3代議長 就 任
H26. 12. 3
伊佐市議会
第4代議長 就 任
H28. 11. 29
伊佐市議会議員 任期満了



閉会中の議会活動



秋の全国交通安全運動 人の波作戦



第13回 肥薩四市議会議長会



伊佐市に新設特別支援学校設置を
求める要望活動

伊佐市議会の議会中継、録画が スマートフォンやタブレットでも



御覧になれます!!



伊佐市議会のホームページ左のバナーから伊佐市議会をタップ→議会インターネット中継をタップ

■ 映像再生プレーヤーについて

議会映像を再生するには、Flash Player プラグインのインストールが必要な場合があります。

■ 接続回線について

インターネットへの接続はFTTH（光ケーブル回線）、ADSL、CATVなどのブロードバンドアクセス回線（500Kbps程度以上の接続環境）でご覧頂く事を推奨いたします。

■ 画質が悪い、動画が途切れる、音声しか聞こえないなどのトラブルについて

最適な画質で動画を配信していますが、お客様の回線状況によっては、ご覧になれない（なりにくい）場合や画質が低下することがあります。

■ ブラウザなどの環境について

映像配信サイトは主なブラウザでご視聴いただけますが、ブラウザソフトによっては、レイアウトや表示・機能が正常に行われなかった場合があります。

議会だより 編集部

議会広報等特別委員会

委員	副委員	委員長
森久畑森 田保中山	緒方長	今村
幸教香良 一仁子和	重則	謙作

2年間、ありがとうございました。
今後も伊佐市議会だよりをよろしく願います。



ささの夜空



一瞬の光芒を放ち、夜空を流れる流れ星。通常見かける流れ星は、直径5ミリに足らない石粒が地球の大気との摩擦で燃え上がり見られる現象です。これが握りこぶし大の石だと閃光を放つ「火球流星」になります。明治19年10月26日午後3時ごろ、伊佐市一帯に突然雷のような爆音が響き渡り、多くの隕石が落下しました。大気との摩擦熱で大きな隕石が爆発し、破片となって伊佐市のあるところへ落下したのです。資産的、資料的価値が高いため、ほとんどが海外へ流出してしまいましたが、平成13年に鹿児島県立博物館がそのひとつを買い戻し、県指定天然記念物「さつま隕石」として所蔵しています。130年前、伊佐に落ちてきた隕石、伊佐市民としては一見の価値あります。

文 左近充 円



「さつま隕石」鹿児島県立博物館 所蔵

平成28年 第4回定例会のお知らせ

○定例会は午前10時開会です。

12月

1日(木)	本会議(招集日)
2日(金)	本会議(2日目)
14日(水)	本会議(3日目)一般質問
15日(木)	本会議(4日目)一般質問
16日(金)	本会議(5日目)一般質問
20日(火)	本会議(6日目)総括質疑
21日(水)	総務産業委員会
22日(木)	文教厚生委員会

1月

6日(金)	本会議(最終日)
-------	----------

議会中継を自宅等のインターネットでも視聴できます。(市議会の生中継や録画を映像配信しています)

【伊佐市ホームページ】



【伊佐市議会】



【議会インターネット映像中継】

大口庁舎・菱刈庁舎・ふれあいセンター・まごし館でも議会ライブ中継をご覧になれます。



編集・発行責任者

議長
丸田和時

議会広報等

特別委員会

委員長

今村謙作

副委員長

緒方重則

委員

森久畑 森山良
田保中 山香和
幸教香 良和
一仁子 和

編集後記

さわやかな秋風とやわらかい日差し。長く続いた夏の暑さから一変、厳しい冬を迎える前の、ひと時の心地よさを感じられる季節ですね。

皆さんは秋と言えば何を思い浮かべますか？スポーツ・読書・行楽…一年の中でもいろいろなおことに挑戦したり、その中で発見があったりするのではないのでしょうか。

今夏は、リオデジャネイロでオリンピック・パラリンピックが開催されました。

4年に一度の大会ですが、選手にとっではその一瞬、その場にたどりの着くまでに、自分の限界に挑戦する真摯な姿、そして日々の努力があったはずで、全力で取り組むことは、新たな発見へと繋がります、それが自分の向上にも結び付いていくでしょう。期待とプレッシャー、周囲の眼差しを受けて日々精進していく姿勢が、4年に一度の大舞台で結果を生み出す力になるのかもしれない。多くの支えに感謝の気持ちがあるからこそ、多くの人々に感動を与えられるのだと思います。

さて、米どころ伊佐市では、稲刈りを終えられた方々も多いと思います。黄金色に輝く田園風景は、まさに伊佐市で見ることが出来る金メダル絶景です。食欲の秋。食材を味わい、楽しめる喜びに感謝しながら、いっぱい伊佐米を食べ、そのおいしさに感動しましょう。

森山良和

